

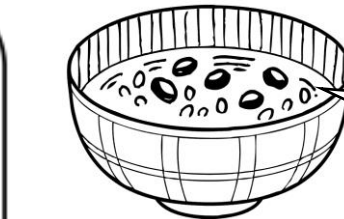
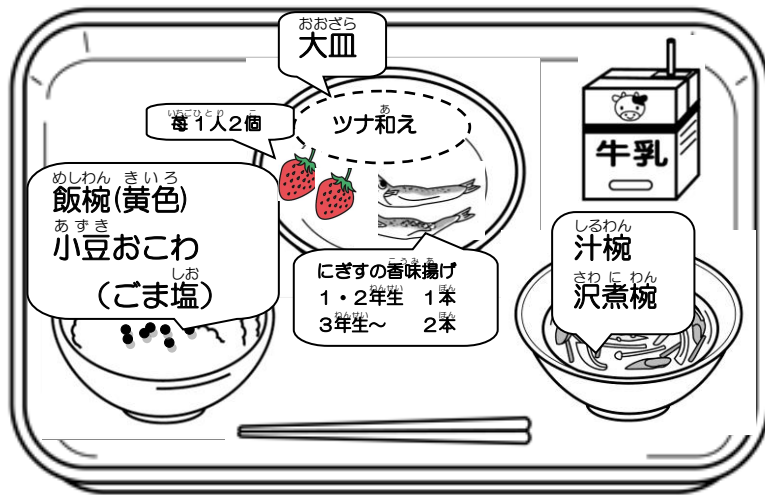


# きゅうしょくニュース



れいわ ねん がつ にちげつようび  
令和6年1月15日月曜日

## きょう 今日「小正月」 & 「莓の日」



とちぎけんさん  
栃木県産の  
「とちおとめ」

あずきがゆ  
小豆粥

1年の豊作を祈り、  
小正月に飾られる「餅花」  
実った稲穂に見立て、  
小さく切った餅を枝に指し、  
束にして飾ります。  
お餅ではなく繭を使い、  
「繭玉」と呼ぶ地域も。

「小正月」とは、1月1日を中心とした正月行事の「大正月」  
に対し、1月15日に行われる行事のことをいいます。

昔の日本では、月の満ち欠けを1ヶ月の基準として暮らしてま  
した。そのため、満月となる旧暦の1月15日を「1年の始まり  
である正月」として祝っていました。これは、昔の日本人が「満月  
はめでたいものだ」と考えていたことに由来するそうです。

小正月には、昔から、小豆を入れたおかゆや、ぜんざいなどを  
食べる風習があります。「小豆のような赤い食べ物は邪気を祓う」  
と考えられているので、1年の健康を祈るという意味があります。

給食では、北海道産の小豆を入れたおこわを炊きました。

また、「莓の日」でもあるので、デザートは莓にしました♪

☆今日の給食に使っている千葉県産の食べ物☆



こめ 米 もち米 牛乳 人参 船橋市産→小松菜 きゅうり み ば 三つ葉